

3.11 若語り 継ぐ 記憶

被災地の沿岸5校の高校生たちが、子ども頃の頃に体験した震災の記憶を、震災を知らない後輩たちに伝えていくために、その想いや考えを小論文として書き残しました。

震災の記憶を風化させないために、語り継いでいく事の大切さを、彼らの活動は教えてくれます。

○協力／宮古高校・山田高校・岩泉高校・久慈東高校・宮古北高校

○朗読／宮古高校放送部

○資料等編集／宮古水産高校 教諭 小笠原潤

○コーディネート／防災士会宮古分会

○映画製作／防災・減災を考える会

●日時 2024年3月3日（日） 13:30～

●場所 宮古市市民交流センター（2階）多目的ホール

13:30 開会

○沿岸被災地高校生による「伝承活動」の紹介

○「インド洋大津波と東日本大震災の比較」スライド

14:15 宮古高校放送部生徒による朗読

「東日本大震災を体験した生徒たちの想い・考え」

15:10 参加者交流(感想・意見・質問など)

15:50 映画(DVD)上映

宮古辯語り「防災・減災を考える～命を守る津波避難場所」

※制作/防災・減災を考える会（宮古市）



参加無料

定員/180名

駐車無料

宮古市駐車場をご利用ください